

様式1〔申し合わせ事項〕 【委員会、全協：共通様式】

令和4年10月13日

東員町議会

委員長 南部 豊 様

東員町議会

議員 大谷 勝治

研 修 報 告 書

研修期間	令和4年10月13日（火）
研修（視察）先	玉城町社会福祉協議会
目的（テーマ等）	元気バスの運行管理と地域福祉への取組について
資料添付の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

**様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】**

〔氏名： 大谷 勝治 〕

研修概要、内容、

玉城町担当者：玉城町福祉協議会 西野公啓事務局長

オンデマンド方式による『元気バス』の導入について、バスの運行ログの分析およびアンケート調査から、オンデマンド交通による交友関係の広がりが確認された（鹿渡修論 2012）。このことが高齢者の元気の元となって健康寿命が延びることにつながると思いますが、さらに後期高齢医療費関連の検証によれば、後期高齢医療費関連の検証（石黒修論 2015）と削減額の試算（オンデマンド交通）（石黒修論 2015）では、・オンデマンド交通利用者群とオンデマンド交通非利用者群の間に一人当たり平均約 21,000 円/年の外来医療費の削減が起きていた・これまでにオンデマンド交通を利用した高齢者は 544 人同様の削減が発生しているとする、1,100 万円/年の削減 - 運営費約 1800 万円/年には及ばないとしたうえで、オンデマンド交通は、タクシーより優位、玉城町コミュバスよりわずかに優位 という結果となった。コミュバスはオンデマンド交通よりも利便性が悪い（一時間に一本以下）ため、外出支援の観点からコミュバスの削減額はオンデマンド交通よりも低いと考えられる。また、利用者数の違いから、**その他の便益**を加えた場合オンデマンド交通がさらに 優位になる可能性がある

オンデマンド交通	タクシー	コミュバス	N	544	544	294	RMC(円/年)
11,414,208	11,414,208	6,168,708	Cost(円/年)	19,708,146	29,235,883	14,749,062	Value(円/年)
				-8,293,938	-17,821,675	-8,580,354	となり、コミュバスからオンデマンド交通への切り替えは成功だとおもいます。

所感、

- ・オンデマンド交通による交友関係の広がりが確認されました。
- ・後期高齢医療費関連の検証、利用者群、非利用者群の間に一人当たり平均約 21,000 円/年の外来医療費の削減が起きていました。これまでにオンデマンド交通を利用した高齢者は 544 人同様に削減されたとして、1,100 万円/年削減されています。運営費 約 1,800 万円/年には及ばないが、クロスセクター・ベネフィットの考え方であれば、高齢者は外出機会が多いほど、寝たきりになりにくいことが明らかになっています。寝たきりになれば、国や自治体の介護保険料負担が増えます。マイカーが利用できない高齢者の外出機会を増やすことについても公共交通は意味があります。寝たきりの人が増えることによる国や自治体の負担と、寝たきり予防につながる公共交通への支出のバランスがとれるのであれば、従来の運賃収入だけで採算性を問うことに疑問があります。 以上